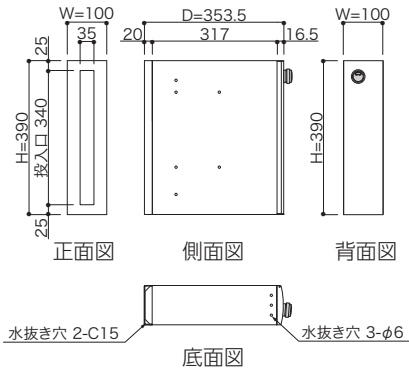


# 24 ルクセルの施工方法

[ルクセル]カラーページP.285

## 〈形状寸法図〉



## 【付属品】

ダイヤル錠  
解錠番号シール  
1枚



取扱説明書  
1部



工事完了後、お客様に必ず  
お渡してください。

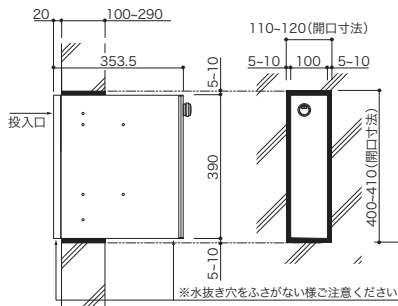
施工  
説明書  
1部



## 〈取付方法〉

### ●埋め込む場合

ポストを設置する穴をあけ、  
周囲にモルタルを詰めて固  
定してください。モルタル硬  
化後、ポスト周囲にコーキ  
ングをしてください。



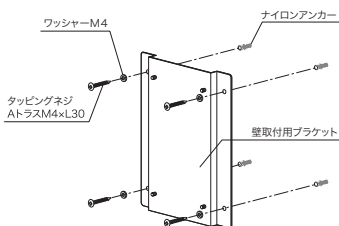
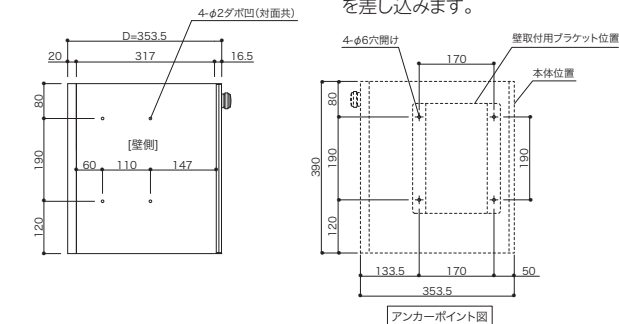
### ●壁に取付ける場合(壁取付用ブラケット使用)

## 【付属品】

※付属品はコンクリート壁面施工用です。

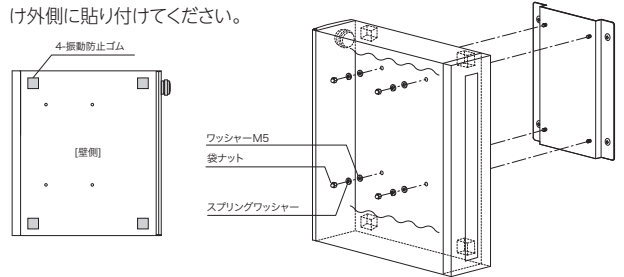
タッピングネジ 4本 ATラスM4×L30	ナイロンアンカー 4本 S6	袋ナット 4個 M5	ワッシャー 4個 M4	ワッシャー 4個 M5	スプリング ワッシャー 4個 M5	振動防止ゴム 4個
-----------------------------	----------------------	------------------	-------------------	-------------------	----------------------------	--------------

1. ポスト側面のφ2位置決め用ダボに  
ドリルでφ4.2の穴を開けます
2. 壁面にアンカーポイント図のピッチ  
でφ6の穴を開け、ナイロンアンカー  
を差し込みます。



3. 壁取付用ブラケットをタッピ  
ングネジで締付け、壁面に  
固定します。

4. 振動防止ゴムを貼り付けます。ポスト  
の振動防止の為、ポスト側面(壁側)  
4ヶ所に振動防止ゴムを貼り付けま  
す。壁面の有効幅を考慮し、できるだ  
け外側に貼り付けてください。
5. ポストを壁取付用ブラケットに固定し  
ます。ポスト内側よりワッシャーと袋  
ナットにて確実に締付けてください。



## 〈カギの取扱について〉

### 解錠番号例

(右7・左8の場合)



解錠番号  
7 8

親番号 / 子番号

▲ 解錠番号の変更は  
できません。



合わせ位置とは…  
3つ見える数字の真ん中が  
合わせる数字になります。  
(白い印が付いています)

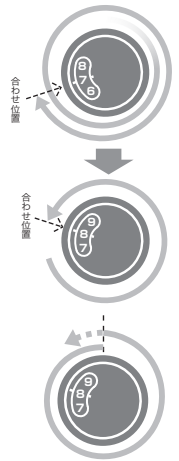
### ●解錠方法

1. はじめにダイヤルを右へ  
2回転以上回してから  
(親番号)に合わせます。
2. 次にダイヤルを左回して  
(子番号)まで回すと解錠  
されます。ダイヤルを引く  
と扉が開きます。

### ●施錠方法

1. 解錠状態のまま扉を閉  
めます。
2. ダイヤルを左に1回転  
以上回します。

▲ 1回転以上回さないと、子番号に合わせるだけで解  
錠してしまう場合があります。



## ▲ご注意

・ダイヤル錠の解錠番号シールは説明書に貼り、大切に保管してください。

「錠記号」というシールは、解錠番号が  
わからなくなった場合に手がかりになる  
記号が書かれたもので、郵便受箱の内  
部にも同じ物が貼ってあります。こちら  
も予備として保管してください。



## ▲警告

- ・事故や故障の原因になりますので、むやみな改造及び仕様変更はしないでください。
- ・ケガや事故の原因になりますので、製品を破損・故障・変形したままでの使用はしないでください。
- ・ポスト本体に重いものを載せたり、寄りかかったり、ぶら下がらないでください。事故や故障の原因になります。
- ・子供をポスト及び周囲で遊ばせないでください。ケガや事故の原因となります。
- ・故障の原因となりますので、ポスト本体へ強い衝撃を与えないでください。
- ・火災や故障の原因となりますので、火気を近づけないでください。

## ▲ご注意

- ・施工の際は、商品と同梱されている取扱・施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ・工事店様へ：工事終了後、取扱・施工説明書をお客様へ必ずお渡しください。
- ・施工に關しましては、専門の工事業者へご依頼ください。
- ・施工中に破損された商品の、お取換え等は出来ませんのでご了承ください。
- ・取付工事には保護用手袋を着用して作業してください。
- ・商品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
- ・ポスト上面へのブロック積みは3段までとしてください。
- ・水平に施工してください。ポストの変形や故障の原因となります。
- ・ポスト底面部の水抜き穴をふさがないでください。
- ・施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因になります。